

2023年7月18日

## 2023年度「自立援助ホーム支援助成」事業実施報告書

団体名.....一般社団法人ひいらぎ

ホーム名.....ひいらぎ

代表者・役職名 氏名.....代表理事 池田千晶

## ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

## 1. 申請事業の名称

自転車置き場整備事業

## 2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2022年7月開設、定員6名の男子のみのホームです。スタッフ経験者で立ち上げ、公共交通機関の利用にも便利な場所を選んで開設しました。県庁所在地である高松市にある唯一の自立援助ホームです。

## 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

- ・屋根のある置き場がないため、自転車が雨ざらしになってしまい、劣化が早い。
- ・建物周辺の地面に傾斜があるため、ちょっとした風で倒れてしまうことがある。
- ・周辺が賃貸駐車場となっており、契約者の車に接触することがないよう、決まった自転車置き場が必要である。
- ・設置場所が不定形なので既製品ではそのまま対応できないため、費用が高額になる。

## 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

自転車置き場の施工

- ・台形の敷地に合わせて屋根を加工
- ・地面の傾斜を緩やかにするため、アスファルトによる補修
- ・アスファルトに支柱を立て、屋根を設置
- ・隣接駐車場への接触を避けるため、側面にパネルを設置

## 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

- ・雨を避けて保管できるようになり、乗るときにぬれている状態が減りました。
- ・屋根があり、平坦で置きやすい場所が定まったため、大切な自転車や原付を子どもたち自身が進んで定位置に置くようになりました。通路に放置するなどということがなくなり、入居者間や周辺駐車場の利用者とのトラブルの心配が大幅に減りました。
- ・整然と駐輪するようになり、玄関周りの印象がよくなりました。

## 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

開設から約1年、ホーム内外の設備の整備を進めながら運営してきました。元社員寮だった広い建物なので、アフターケアなどにもさらに有効活用していけたらと考えています。

## 7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。



↑ 施工前 →



↑ 施工後